

ふっかつせつだい しゅじつ
復活節第3主日

ふくいん ルカ 24・35～48

きょうかいがっこうのみなさん：たるみきょうかいでごふっかつのひにあえてとてもうれしかったです。
またかおをみせてくださいね。

(そのとき、エルサレムにもどったふたりのでは) みちにおこったことや、パンをさいてくださったと
きにイエスだとわかったしだいをはなした。
こういうことをはなしていると、イエスごしじんがかれらのまんなかには、「あなたがたにへいわがあ
るように」といわれた。かれらはおそれおのき、ぼうれいをみているのだとおもった。そこで、イエス
はいわれた。「なぜうろたえているのか。どうしてところにうたがいをおこすのか。わたしのてとあしを
みなさい。まさしくわたしだ。さわってよくみなさいぼうれいにはにくもほねもないが、あなたがたにみ
えるとおり、わたしにはそれがある。」こういって、イエスはてとあしをおみせになった。かれらがよろ
こびのあまりまだしんじられず、ふしぎがっているので、イエスは、「ここになにかたべものがあるか」
といわれた。そこで、やいたさかなをひときれさしだすと、イエスはそれをとって、かれらのまえでたべ
られた。《44・はぶきます》
イエスは、せいしよをさとらせるためにかれらのころのめをひらいていわれた。「つぎのようにかいて
ある。「メシアはくるしみをうけ、みっかめにししやのなかからふっかつする。また、つみのゆるしをえ
させるくいあらためが、そのなによってあらゆるくにのひとびとにのべつたえられる。」とエルサレムか
らはじめ、あなたがたはこれらのことのしょうにんとなる。」

せんしゅうもひきつづいてきょうのふくいんでもふっかつされたイエスさまはふたりので
したちのまえにあらわれます。このふたりがはしってきて、でしたちにそのことをはなし
ているうちに、イエスさまはみんなのまえにあらわれました。そして「あなたがたにへい
わがあるように」と。しかしじぶんたちはイエスさまがいきておられることをまだまだか
くしんしていないようでした。

イエスさまがまんなかにはたっているのものすごくおどろいて、ふるえて、ぼうれいをみ
ているのだとおもった。イエスさまはこういわれた「どうして、びっくりしているのか、
ところにうたがいをおこすのか、わたしのてとあしのくぎあとをみなさい、ほんとうにわ
たしですよ。」

そのときにイエスさまはせいしよのなかに「すくいぬしがくるしみをうけたあと、ふっか
つするとかいてある」とおしえました。

やっところのとびらをひらきました。またイエスさまはでしたちにおねがいをしました。
「すべてのくににいて、わたしのことをひとびとにつたえなさい。あなたたちがみたこ
とをみんなにしらせなさい。」と

わたしたちもでしたちのように、イエスさまにであうよろこびをたいせつにしていきたいですね。イエスさまにほんとうにであいたいですね。わたしたちのころのなかにイエスさまがいることをどういうふうにかんじていますか。あったときにおしえてね。でしたちはよわかったのに、イエスさまにであってからイエスさまのおかげでつよくなって、イエスさまのことをつたえるようになりました。

ゆいえ **わたしのてとあしをみなさい**



San Lucas 24, 38-39